

## 富士見池調節池（石神井川）

### 施設概要

富士見池調節池は、石神井川の治水安全度を早期に向上させるために、石神井川の上流部において練馬区立武蔵関公園内の富士見池を活用した、東京都内で最初に整備した調節池です。

調節池は掘込式であり、石神井川の水位が上昇すると、越流堤から洪水を取水します。洪水後は、石神井川の河川水位の状況に応じて、池下流端に設けたゲートを開き、自然排水を行います。

また、武蔵関公園の地下に貯留槽を設置することにより、当調節池の貯留量は当初整備時（昭和47年）の31,000m<sup>3</sup>から、33,800m<sup>3</sup>に拡張されています。

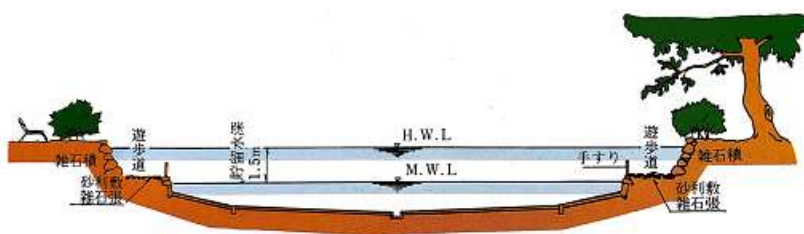
調節池内は、遊歩道が設けられており、平常時は武蔵関公園（練馬区）として、池の周りを散歩する人や、カワセミなどの野鳥観察に利用される自然豊かな公園となっています。



平面図



調節池現況



断面図



排水施設

### 施設諸元

位置	練馬区関町北三丁目
完成年度	昭和47年度（平成20年度に拡張）
施設形式	掘込式
敷地面積(m <sup>2</sup> )	21,000m <sup>2</sup>
貯留量(m <sup>3</sup> )	33,800m <sup>3</sup>
越流堤延長(m)	10.5m
調節池の上部利用	武蔵関公園（練馬区）

## 位置図



調節池位置のQRコード

